

2024年12月の行事予定

1	日	大月師 聖餐式、役員会	16	月	
2	月		17	火	
3	火		18	水	
4	水	祈祷会	19	木	祈祷会
5	木		20	金	
6	金		21	土	
7	土		22	日	クリスマス礼拝、祝会 大月師
8	日	大月師	23	月	
9	月		24	火	キャンドルサービス 7:30 pm~
10	火		25	水	
11	水		26	木	祈祷会
12	木	祈祷会	27	金	
13	金		28	土	
14	土		29	日	証し
15	日	大月師 壮年会、女性会	30	月	
			31	火	

12月お誕生・洗礼記念日の皆様おめでとうございます。

編集後記

- ◇ 今年もあと一月となりました。みなさんにとってどのような一年だったでしょうか？
- ◇ 今年後半から私のテーマのような讃美があります。「素晴らしい主を (Goodness of God)」という曲です。曲中の「あなたは良い方」というフレーズに惹かれました。
- ◇ 試練の中にいる友人のために祈る時、眠れない夜を過ごすとき、静かに底の方からこの讃美が浮かび上がります。現実是不変でない、答えがわからない、でも「あなたは良い方で、いつも誠実な主」でした、と告白する気持ちにさせられました。
- ◇ いろんなことの詰まった2024年でしたが、振り返ってそこに神様の「あふれる恵み」をみつきたいです。

教会月報

2024年12月

No.403

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

クリスマスありがとうございます。

「ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。」(イザヤ書 9:5)

イエス様は全ての人を救う為に飼葉桶で生まれ、十字架で死んで下さいました。その愛と恵みの方法は不思議です。

懸命に生きてはいても、どこか生きることの空しさや寂しさを感じている方はないでしょうか。私自身、はじけるような命の喜びや生へのエネルギーが少ないのは何かが欠けているのではないかと、そんな不全感を抱えて生きてきました。ところが、何も食べられなくなる厳しい闘病生活の中で、沸き上がってくる何かを食べたい欲求と食べられた時の喜びの大きさに、生きようとする自分の生命力を知り驚きました。同時に、生きる力や命は自分のものではなく、深く神様から流れ与えられるもの、とも実感できたのでした。人生の大きな転換点となりました。

そしてある朝、産科病棟から赤ちゃんの大きな産声が響いてきました。「よく生まれてきてくれたね。大変なこともあるだろうけどがんばってね。おめでとう！！」と、小さな命の誕生を心から祝福できている自分を発見して、自力ではどうにもできなかった問題を、イエス様が解決して下さいましたことを確信できたのでした。

大きな危険と覚悟をもってイエス様を迎えてくださったマリアとヨセフ、一人一人の悩みや罪や重荷を知り、背負い、救う為に生まれてくださったイエス様、クリスマスおめでとうございます。そしてありがとうございます。

牧師 大月康子

永眠者記念礼拝

11月3日(日)は、遺族 11 名含め 29 名の方々と共に、先に天に召された聖徒の皆さまを偲ぶ永眠者記念礼拝をもつことができました。

岡山教会の牧師として最初の永眠者記念礼拝を司式された大月康子師から、ルカ福音書15:1~10より「探し続け喜ばれる神」と題してメッセージをいただきました。礼拝後には大月師よりご遺影のご紹介がありました。ご遺族挨拶では、それぞれに懐かしい思い出を語っていただきました。

記念撮影ののち、恵まれた青天の下、たくさんのお花と共に墓前礼拝(第一:大月師ほか 6 名、第二:永松師夫妻)に向かいました。第一墓地では、2 曲賛美し、墓前での語らいや往復の車中での交わりが深まった幸いな時でした。



礼拝後の記念撮影



第一墓地：墓参7名(司式 大月師)



第二墓地墓参2名(司式 永松師)

以下の故人のご遺族が礼拝に参加されました。(敬称略)
 故藤原千代子、故清水和美、故片岡晋・敬子、故白神薫、故河合美恵子、故松本利孝、信子、謙吾、故片岡富美子、故山村美智江、故中山文子、故大谷和美



子ども祝福式・収穫感謝祭

こども祝福式が11月17日、24日(収穫感謝礼拝)の中で行なわれました。幼稚園生から高校生までの子どもたちが会堂最前列で大月先生のお話に耳を傾け、ひとりひとりの頭に手が置かれお祈りしていただきました。

17日(日)は、マルコ福音書10:14「子どもたちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。」そして、本“ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか?”から、子どもの心の尊さを語っていただきました(この本の内容は月報11月号巻頭言参照)。また、収穫感謝礼拝でもあった24日(日)には、詩編139:13-14から、私たちの体のみならず、あらゆるものを創ってくださった神様の偉大さをお話していただきました。



7名の子どもたちが祝福の祈りを受けました。これからもこの子どもたちの成長のためにお祈りしましょう。



山陽四国地区聖会に参加して

A.F.姉

残念ながら一日目は出席できず、二日目のみでしたが、10/27に聖会に参加する恵みをいただきました。水島教会の新会堂はとても素敵でした。まず子どもとの合同礼拝がもたれ、一緒に賛美し、アブラハムのお話を聞きました。子ども達が生き生きと賛美する姿がとても印象的でした。その後の礼拝でCSを担当させていただきました。天国の国旗、シンボルを考えてみよう!をテーマに、石に絵を描きました。お母さんにプレゼントする!お友達の分も!と次々と作品を作ってくれました。子ども達同士がとても仲良く、さすが主にある家族だな、と嬉しかったです。

昼食をはさみ、第二聖会で大頭眞一先生のメッセージがありました。聖化の再発見・ジパング篇と題して、先生の体験をもとにお話していただきました。主は私の弱いところ、汚いところも全てご存知で、私の内にある深い傷を取り扱い、癒やしてください。その過程にきよめがある、というメッセージにとても励まされました。

個人的にも、大頭先生の牧会されている教会は私の実家の近くであり、また大頭先生は私に洗礼を授けてくださった牧師先生をよくご存知で、このような点にも神さまの取り計らいを感じました。参加されたそれぞれの教会の皆さまとの交わりも楽しく、とても恵まれた時となりました。帰りの車中で大月先生とたくさん話せたことも感謝でした。神さまがくださった大きな恵みと愛、祝福の中で歩いていきたい、そのように強く思った一日でした。

